

全国骨髓バンクボランティア大会 in 大垣



● **とき** 2011年 6/4 (土) 13:00~16:00 ● **ところ** 大垣市スイトピアセンター 文化ホール
(大垣市室本町5-51 TEL0584-74-6050)

● 当日スケジュール

- 13時 — 映像「**笑顔をありがとう**」
- 13時10分 — 東ちづる著絵本「**マリアンナとパルーシャ**」(Wing)
- 13時25分 — ビデオメッセージ「**東ちづる**」
- 13時30分 — 大会式典・感謝状贈呈
- 14時20分 — パネルディスカッション「**命はいつでも輝いている!みんな同じ命!**」
コーディネーター 大谷 貴子(全国骨髓バンク推進連絡協議会会長)
パネラー 横幕真紀、川崎美智子、竹中 望
- 15時20分 — ミュージカル「**いのちの海**」(リトミックGifu)

同時開催

パネル展[6月4日(土)・5日(日)開催]
「**笑顔をありがとう**」

- ずっとそばにいるよ!航平
- さっとの笑顔
- 青空の天使たち
- いのちのアサガオ
- あやちゃんの贈り物
- マモのメッセージ

主催: 特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会
主管: 岐阜骨髓献血希望者を募る会
後援(予定): 厚生労働省、岐阜県、大垣市、大垣市教育委員会、日本赤十字社、(財) 骨髓移植推進財団、日本さい帯血バンクネットワーク、岐阜県医師会、大垣市医師会
協賛: 大垣RC、大垣西RC、大垣中RC、大垣センチュリーRC、各務原クローバーLC、瑞浪桔梗LC、養老ミート株式会社、東海骨髓バンク
協力: NPO法人リトミックGifu、Wing、まるつけ会、岐阜経済大学 HIGE☆BU、マイスター倶楽部、ガッツポーズ

お問い合わせ先 **岐阜骨髓献血希望者を募る会** Tel/Fax **0584-91-4998** Email **bbdsj860@ybb.ne.jp**

当日はライブ中継があります。詳細は <http://www.nisimino.com/g-marrow/>

育むいのち

骨髓バンクの仕組みが日本に誕生して21年目
「いのちを繋ぐ」輪が大きく育ってまいりました。
この大会では、「いのちを育む」をテーマに将来を担う子どもたちと、
それを支えるボランティアがつくり上げる大会とし、
骨髓バンクへの理解を広げ、繋がるいのちの輪が大きくなるのを願うものです。

13時10分 ● 東ちづる著絵本「マリアンナとパルーシャ」読み聞かせ

「マリアンナとパルーシャ」(Wing)

「マリアンナとパルーシャ」は東ちづるさんの絵本で、戦争で傷ついた世界中の子どもたちが、ドイツの平和村で懸命に生きる姿を描いた素敵な絵本です。

傷ついた子どもたちは一生懸命生きようとしています。

みんな夢をもって・・・

平和村の子どもたちは、もうひとりの私たちなのです。

Wingは、「マリアンナとパルーシャ」の読み聞かせ活動を通して、ドイツ平和村の事を知っていただく活動を行うとともに、支援活動を行っています。



15時20分 ● ミュージカル「いのちの海」(リトミックGifu)

「いのちの海」(NPO法人リトミックGifu)

子どもたちに音楽を通して、心豊かで思いやりのある子を願って活動を始めて結成21年目。乳幼児と親のリトミック・表現あそび・親子のためのコンサート、小学生のためのミュージカルなど幅広い活動を行っています。特にミュージカル公演は、子ども達の自主性を尊重し、一年間の様々な体験を通して学んだことを織り込んで創り上げていきます。このミュージカルのテーマは「命」です。広い海を自分だけのものにしようとする海の魔女たちは、小さな魚たちと戦う中で、命はこの世にたった一つしかない大切なものであること、生き物はみんな他の生き物の命を貰って生きていること、遠い昔から命と命はずっとつながっていることを学んでいきます。



パネラー ● 横幕真紀

4歳のとき急性骨髄性白血病を発症し、5歳3か月でこの世を去った横幕航平くんの母・真紀さん。

闘病中の手記を基に「ずっとそばにいるよ～天使になった航平～」を出版し、各地で講師に呼ばれ航平くんからのメッセージ、命の大切さや、あきらめず精一杯生き抜くことなどを伝えている。現在では岐阜市民病院で、血液疾患などで入院・通院している子どもと親の会「まるっけ会」の代表として活動している。(また、大垣市の子育てサロンにおいて、子育てコーディネーターとして、未就園児の子どもとその保護者をサポートしている)



パネラー ● 川崎美智子

中学2年生で急性骨髄性白血病を発病し、地元の病院から紹介された専門病院で数カ月の命との宣告をうける。

一時は生死の境をさまよったが、骨髓バンクを介して骨髓液の提供を受け白血病を克服した。その後、自分の経験を生かし、病気で苦しむ患者さんの力になれたらと思い、看護師となる。現在はクリニックで患者さんに元氣を与えられるよう頑張っている。



パネラー ● 竹中 望

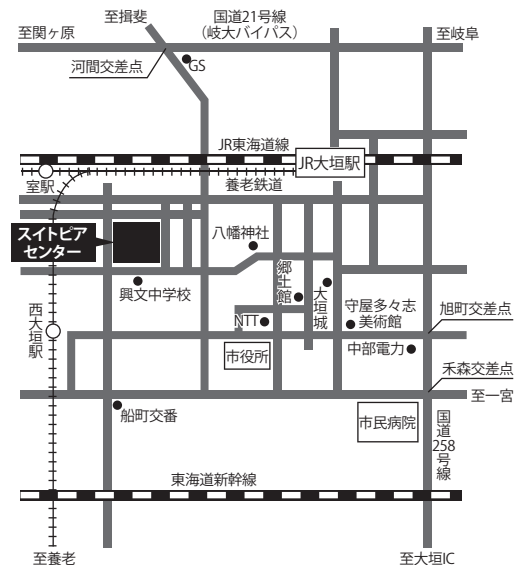
大垣市社会福祉協議会職員。学生時代より社会福祉、ボランティア活動に興味を持ち、特別養護老人ホームでの勤務を経て大垣市社会福祉協議会の職員となる。

職員として地域福祉活動にかかわる中で骨髓バンクに出会い、登録。登録後一年余り、幸運にも骨髓提供の機会に恵まれ、平成20年5月に骨髓提供を行う。

会場案内図

大垣市サイトピアセンター 文化ホール
(大垣市室本町5-51 TEL0584-74-6050)

◆大垣駅よりバス(4番乗り場)で数分、徒歩15分



お問い合わせ先

岐阜骨髓献血希望者を募る会
Tel/Fax 0584-91-4998
Email bbdsj860@ybb.ne.jp